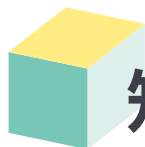


福井県職員募集案内 2024



“CHALLENGE”
あなたのチャレンジが
福井の未来を創る!



知事からのメッセージ / MESSAGE



福井県知事 杉本 達治

こんにちは。福井県知事の杉本達治です。

北陸新幹線の福井・敦賀開業を迎え、新しい往来が生まれ、チャレンジの舞台が広がる「ふくい新時代の幕明け」です。

福井県では、これまで新幹線駅周辺の整備や県内各地の観光地の磨き上げなど、官民一体となったまちづくり・にぎわいづくりを進めてきました。また、中部縦貫自動車道大野・九頭竜間や冠山峠道路の開通など、幹線道路網の整備も着実に進展しています。県勢を大きく飛躍させる100年に一度のチャンスを最大限に活かし、交流人口の拡大はもとより、さらなるビジネスや人材の誘致につなげ、新幹線効果を最大化・持続化していきます。

また、日本一幸福な子育て県「ふく育県」の拡大や教育の充実、若者や女性の活躍推進、価値づくり産業の創造や農林漁業の成長産業化、医療・福祉の充実、防災・減災対策など、県民のみなさんの住みやすさをより一層高め、一人一人の最大幸福を追求する「幸せ実感社会」の実現を目指します。

ふくいの新時代を拓くのは、みなさん一人一人のチャレンジです。福井県庁という新たな舞台と一緒に「ふくいの未来」を創っていきましょう。



各部署の紹介 (令和5年度)

総務部



職員の人事や財政運営、広報、法制、県内市町との協働など、主に福井県庁の組織全体に関する業務を担います。

未来創造部



福井県の2040年の姿を描く「長期ビジョン」に基づき、県政の総合的企画および政策立案、DX推進、女性活躍、若者チャレンジ、北陸新幹線開業に伴う交通・まちづくり政策、統計調査などを担います。

防災安全部



豪雨・豪雪をはじめとする自然災害への対応、原子力の安全対策、交通事故や消費者トラブルの未然防止対策など、県民生活の安全・安心に関する政策を担います。

交流文化部



国内外から多くの人を呼び込むため、恐竜、食、歴史をはじめとする福井の魅力を活かした観光戦略やUターン推進、文化・スポーツの振興など、交流人口の拡大に向けた様々な政策を担います。

エネルギー環境部



省エネ政策や再エネなど様々なエネルギーの導入・利活用、地域共生に関する施策、ごみ減量化、自然環境の保全など、福井県のエネルギー政策や、環境保全に関する政策を担います。

健康福祉部



日本一幸福な子育て県「ふく育県」を目指した子育て環境の整備や、医療・福祉政策の推進など、子どもから高齢者まで安心して暮らすことができる地域づくりを担います。

産業労働部



ものづくりが盛んな福井県の強みを活かし、繊維・眼鏡や伝統工芸などの地場産業から新技術の開発、販路開拓まで、産業・商業の振興に関する幅広い政策を担います。

農林水産部



「コシヒカリ発祥の地」である福井県が新たに開発したブランド米「いちほまれ」や全国に誇る「越前がに」をはじめとする福井の豊かな「食」と、それを支える農林水産業の振興を担います。

土木部



中部縦貫自動車道など県内の道路整備、河川・ダム等の管理、公共施設の維持補修など、福井県の重要なインフラを支えます。

※このほか教育庁、会計局などがあります。

福井県庁は、職員の積極的なチャレンジを応援しています!

チャレンジ政策提案

チャレンジ政策提案とは、「新しいことにチャレンジしたい」若手職員を後押しする制度です。職員が自由な発想で自ら考えた政策の実現を目指し、部署の垣根を越え、自発的にチームを編成し、知事に直接提案できます。提案によっては予算編成手続きを経て事業化していきます。



ふくい式20%ルール

自分の通常の勤務時間を100%として、そのうち20%を担当業務外に充てることのできる制度です。

例えば、部局横断的に課題解決を考えるために公募される「タスクフォース」への参加や、知事に直接政策を提案する「チャレンジ政策提案(上記)」、自分の専門性を活かして他部署の専門的業務にスポット的に参加する「庁内セカンドワーク」等を行う際に利用できます。

1 指定課題解決型

担当課が課題を指定し、従事する職員を公募により集めてタスクフォースを結成。課題解決に向け政策企画を行う。

2 自主提案型

職員が自主的に課題・テーマを設定して自発的なタスクフォースを結成。「チャレンジ政策提案」の制度に基づき政策企画を行う。

3 庁内セカンドワーク型

特定分野に優れた専門性・経験を持つ職員が、専門性を活かせる業務に、スポット的に参画する。



政策デザイン

政策デザインとは、政策にデザインの思考を取り入れ、県民目線で質の高い政策立案を目指す仕組みです。県内のデザイナーやクリエイターとのワークショップ等を通じて、自由な発想で様々な課題の解決に向けたアイデアを示し、相手方の視点に立った政策づくりを進めています。



省庁・民間企業への長期派遣研修

[派遣職員紹介]

「省庁や民間企業での業務を経験してみたい!」「行政以外の視点から事業の企画立案を経験してみたい!」

そんな若手職員のチャレンジを後押しするのが「派遣研修制度」です。より広域な視点から政策を立案する力や、民間企業ならではの視点から事業を企画する力を習得し、県政にフィードバックしてもらうため、希望する若手職員を1~2年程度の期間、中央省庁や民間企業等に派遣しています。

[令和5年度派遣先(例): 総務省、経済産業省、ANA、JR西日本など]

また、国際的に通用する語学力や専門知識習得のため、外国大学院への派遣(留学)も行っています。

[直近の派遣先実績: シラキュース大学大学院(アメリカ)、イーストアングリア大学大学院(イギリス)]

現在の仕事内容は?

採用5年目の年にANAに派遣され、CX推進室グローバルマーケティング部企画チームに所属しています。主に国や観光団体等との連携、他企業との共同事業の実施、訪日誘客方針の策定を担当しています。

派遣研修に参加した理由は?

県の魅力を広く発信する業務を担当したいと考えていましたが、観光分野や経済分野の知識・経験が少ないと感じていました。福井県を効果的にPRしていくための知見を得るとともに、外部から見た福井県の魅力を再確認したいと考え、派遣研修に応募しました。

受験者の方へメッセージ

福井県庁には、希望する業務にチャレンジできる制度が整っており、職員のやりたいことを応援してくれる雰囲気もあるため、前向きに仕事をすることができます。チャレンジする風土の根付いた県庁で、様々なことに挑戦していきませんか。福井県を盛り上げる仲間が増えることを楽しみにしています。

全日本空輸株式会社(ANA) 派遣
木下 かすみ [令和元年度採用]



行政



前波 里奈

DX推進課 [令和5年度採用]



現在の仕事内容や印象に残っている仕事は？

福井県が抱える課題をDX（デジタルトランスフォーメーション）で解決するために、企業に実証実験を行ってもらおう事業や、県のDXの取組みを広く知ってもらおうイベントの担当をしています。特に実証実験を支援する事業では、補助金の交付という初めての仕事で不安もありましたが、先輩に教えていただきながら無事に交付処理を進められた時、達成感がありました。

また、「デジタルの力で、子ども・高齢者を県民みんなで見守り」をテーマにチャレンジ政策提案に参加し、入庁1年目でしたが知事の前でプレゼンできたことは貴重な体験となりました。

チャレンジしていること、今後チャレンジしたいことは？

庁内各課や市町、企業の担当者と連携を強化しながら仕事を進めていくことにチャレンジしています。DXの推進は自分の所属単独で進めることはできず、様々な機関と連携することで新たな可能性が生まれてくることを、日々の業務で実感しているからです。

行政の業務

様々な部局において、国や市町と連携を図りながら、県政全般に係る政策の企画立案や事業の推進、各種申請の審査、予算執行など、行政運営に係る様々な業務に従事します。

【本 庁】各課（室）
【出先機関】県税事務所、健康福祉センター、土木事務所、農林総合事務所、嶺南振興局、県立学校 など



定例会議

福祉・心理



高崎 夏帆

総合福祉相談所 [令和5年度採用]



現在の仕事内容や印象に残っている仕事は？

児童福祉司として、子どもにとって安全で、安心できる環境を整えるため、保護者との面談や関係機関への調査により、子どもや保護者の置かれている環境を把握し、どのような支援が必要であるか判断しています。また、それを踏まえて市町や学校など関係機関と連携し、子どもやその家族への支援・指導を行っています。

印象に残っている仕事は、保護者との面談です。最初は悩みや相談事をなかなか話してもらえませんでしたでしたが、面談を重ねていく中で、保護者が少しずつ心を開き、自分の思いを話してくれるようになった時はとても嬉しかったです。

チャレンジしていること、今後チャレンジしたいことは？

業務では様々な知識が求められるため、本を読む習慣をつけ、知識のインプットに取り組んでいます。また、私は県外出身なので、子どもやその保護者と円滑なコミュニケーションをとるために福井弁を身につけようと頑張っています。

福祉・心理の業務

保健・医療・福祉政策の企画立案、児童、障がい者、高齢者などへの相談対応や自立支援の指導・助言のほか、乳幼児の発達相談、障がい者福祉分野での判定と援助、不登校児童や非行児への心理判定とサポートなどに従事します。

【本 庁】地域福祉課、児童家庭課など
【出先機関】児童相談所、和敬学園、健康福祉センター、県立病院 など



保護者との面談

農学



野村 文希

福井農林総合事務所 [令和3年度採用]



現在の仕事内容や印象に残っている仕事は？

普及指導員として、農家に白ネギやブロッコリー、キクなどの野菜や花の収量・品質向上に向けた技術指導を行ったり、栽培試験などを通して農家の経営向上を支援したりしています。

印象に残っている仕事は、白ネギの栽培講習会で、病害虫への対応策について資料を作成し説明したことです。資料作成は大変でしたが、先輩の助けもあり、なんとか完成させることができました。説明後、参加者からは「実際の気象データなどとリンクした説明がわかりやすかった」など良い評価が得られ、役に立てたと感じました。

チャレンジしていること、今後チャレンジしたいことは？

現在、農家が直面している肥料高騰などの課題解決を目指し、化成肥料の使用量低減や省力化に資する技術の導入に向けた実証試験に取り組んでいます。今後も様々な事業を活用し、課題解決の一助となるようチャレンジしていきたいです。

農学の業務

農業、畜産の振興施策の企画立案のほか、農業等従事者の方への生産技術・経営改善などの普及指導、農業試験研究、畜産試験研究などに従事します。

【本 庁】流通販売課、園芸振興課、中山間農業・畜産課 など
【出先機関】農林総合事務所、農業試験場、畜産試験場（奥越高原牧場） など



生育調査

機械・金属

企業の技術開発を支援するため、原材料や製品の機能・性能の分析・評価、新材料・新加工技術等の研究開発などに従事するほか、県の機械設備や施設の計画・設計・監理を行います。

【本 庁】公共建築課、産業技術課、財産活用課 など
【出先機関】工業技術センター、土木事務所 など

水産

水産業の振興施策の企画立案、漁業等の許認可、資源管理の推進のほか、水産試験場等での水産資源・海洋環境の調査研究、種苗生産技術の研究開発などに従事します。

【本 庁】水産課、流通販売課 など
【出先機関】水産試験場（栽培漁業センター、内水面総合センター） など

林学

林業の振興施策の企画立案のほか、県産材の利用促進、林業の担い手の育成・確保、林道の整備、森林育成・木材の有効利用技術の研究開発などに従事します。

【本 庁】県産材活用課、森づくり課 など
【出先機関】農林総合事務所、総合グリーンセンター など



INTERVIEW

さらに詳しい

土木(総合)



山内 慎太郎

福井土木事務所 [令和3年度採用]



現在の仕事内容と印象に残っている仕事は？

バイパス道路の整備を行う道路改良事業、消雪施設やトンネルなどの道路施設の維持管理に関する工事の設計・監督業務をしています。その他、防水・除雪業務や災害復旧業務も行っています。

道路改良工事が特に印象に残っています。設計時には想定していなかった事態の発生や、地元住民・関係機関との協議など課題解決には苦労もありましたが、工事が進み形になったときには達成感を感じました。また、大雨・大雪の際には、通行止めになった道路の迂回路を確認したり、応急工事を行う業者と協議したりと、早期に規制が解除できるよう対応しました。

チャレンジしていること、今後チャレンジしたいことは？

今後業務を進める中で、書類作成の電子化にもっとチャレンジしていきたいです。現在もスケジュールを調整しながら、テレワークで設計書の作成業務などをしていますが、電子化により業務が効率的になると、もっとテレワークがしやすくなると思います。

土木の業務

道路、港湾、住宅、公園、河川、砂防施設およびダム、農業生産の基盤となるほ場、用排水路、農道、農業集落排水施設などの整備または維持業務に従事します。

【本 庁】 道路建設課、河川課、港湾空港課、都市計画課、農村振興課など
【出先機関】 土木事務所、農林総合事務所、ダム建設事務所など



設計書作成

電気



佐賀 圭真

工業技術センター [令和2年度採用]



現在の仕事内容と印象に残っている仕事は？

ロボット導入による作業の自動化・省人化に関する相談対応や、それにつながる技術の研究開発をしています。また、工業技術センターが保有する振動試験機、雷サージ試験機など試験機器の管理も担当しており、機器の利用を希望する企業への対応も行っています。

印象に残っている仕事は、企業からの相談に対応するため、実際に生産現場を訪問したことです。企業がコストとの兼ね合いもある中、意欲を持って生産の効率化に取り組まれていることを痛感し、私も県内企業が抱える問題の解決に向け、頑張っていきたいと改めて思いました。

チャレンジしていること、今後チャレンジしたいことは？

これから研究テーマの立ち上げを行うため、県内企業の自動化ニーズを踏まえたテーマを探るとともに、技術的な知見を深められるよう、時間を見つけて自動化関連の技術を調べるなどしています。

電気の業務

水道・工業用水・下水道施設設備および県立病院などの建築設備の設計・工事監理や維持管理、防災分野での防災通信網や原子力モニタリング設備の整備・維持管理などに従事します。

【本 庁】 公営企業課、財産活用課、公共建築課、危機管理課など
【出先機関】 坂井地区水道管理事務所、テクノポート福井浄化センター、県立病院など



研究業務

化学



田中 碧

環境政策課 [令和5年度採用]



現在の仕事内容と印象に残っている仕事は？

公害防止のために、河川・海域・湖沼の水質や工場排水を監視する業務を担当しています。また、市町や事業所からの環境保全に関する相談にも対応しています。

担当業務として、事業者から工場排水の浄化処理方法の改善に関する書類を受け取った際、自分では気づかないポイントについて先輩からアドバイスをいただき、事業者に適切な処理方法を助言できたことがありました。

それ以来、自分ももっと知識をつけて、先輩のように細やかな対応をしたいと思い、必要な知識の習得に励んでいます。

チャレンジしていること、今後チャレンジしたいことは？

担当業務に関連する法令解説を読んだり、過去の書類を見直したりなどして、知識習得に励んでいます。現在は実務に近い知識を学んでいるところですが、今後はより視野を広げて勉強し、公害防止管理者(水質)の資格を取りたいと考えています。

化学の業務

地球温暖化や酸性雨、大規模開発の環境アセスメント、ダイオキシン類対策などの企画立案、環境ホルモンなど微量化学物質の調査・試験研究のほか、繊維やプラスチックなど工業分野における先進的技術の研究開発や技術指導に従事します。

【本 庁】 環境政策課、循環社会推進課など
【出先機関】 衛生環境研究センター、健康福祉センター、工業技術センターなど



調査資料の作成

建築

県民の豊かな住生活を実現するために、住宅施策の企画・立案を行います。また、建築物の安全、安心を確保するための審査指導、県の施設的设计監理を行います。



【本 庁】 建築住宅課、公共建築課、都市計画課、文化課、交通まちづくり課など
【出先機関】 土木事務所など

警察行政

安全で安心な福井の実現を目指し、警察官とともに働き、予算編成、職員の福利厚生、情報システムの開発、交通管制、運転免許証の交付、犯罪の分析統計などの警察行政の事務に従事します。

【主な配属先】 警察本部、各警察署 など

小・中学校事務

家庭、地域、学校を結び、児童・生徒が勉強しやすい教育環境を整備するため、会計経理、文書管理、学校施設の維持管理など学校運営全般にわたる業務を担当します。

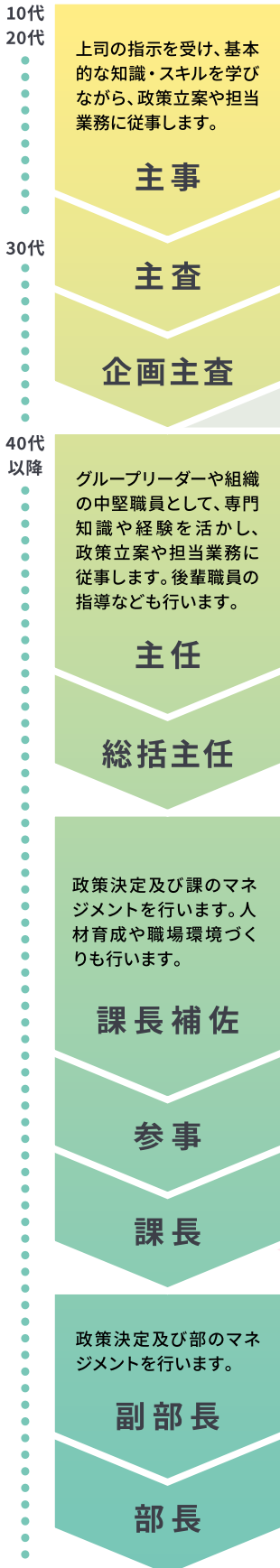
【主な配属先】 県内市町立小・中学校



キャリアパス / CAREER PATH

新採用職員は、本庁のほか、より現場に近い経験を積むため、県内全域の出先機関（県税事務所・健康福祉センター・土木事務所等）に配属されます。一般的に入庁後10年程度は様々な職場を経験できるように、本庁や出先を原則3年程度、中堅職員は5年程度のサイクルで異動します。

専門性を高めたい職員や希望するプロジェクトに参画したい職員は、「チャレンジ制度」や「庁内FA制度」を活用し、希望部署に挑戦することができます。採用前のほか、採用後も毎年異動前に、勤務地や部署などの異動希望を伝える機会があります。



ディレクター

寺井 優介

企画主査
(チャレンジ応援ディレクター)
[平成18年度採用]

今までの仕事と、ディレクターとしての仕事は？

これまで情報公開・法制課での法令関係業務や、ブランド営業課での恐竜ブランド「ジュラチック」の立ち上げ、危機対策・防災課での災害対応業務など、幅広い分野で業務経験を積んできました。

令和3年度にチャレンジ応援ディレクターに就任してからは、福井のチャレンジする若者「ふくいチャレンジャー」を応援するため、SNSを通じた情報発信、若者同士のマッチング、各種イベントの企画・運営などを行っています。何から何まで初めて尽くしの仕事で、毎日違う仕事をしているのがとてもエキサイティングで楽しいです。課長相当の役職ということで「チャレンジ応援チーム」のリーダーとして、チーム員のみならず日々新鮮な気持ちで仕事をしています。

ディレクター就任後の変化は？

これまではデスクの上で仕事をすることが多かったのですが、圧倒的に県庁の外に出ることが増えました。

[ディレクターとは]

「県民のチャレンジ応援」、「カーボンニュートラルの推進」など、プロジェクト別に30代後半から40代前半の中堅職員をディレクターに抜擢しています。ディレクターは管理職である「課長相当」の役職で、プロジェクトに関連する分野の各部の若手職員とともに部局横断的なチームを結成し、県政の重要課題解決に取り組んでいます。

一番大切なのは、知事もよく話している「徹底現場主義」だと感じています。自分の頭で考えるのはもちろんですが、県民の皆さんの実際の話聞いて物事を進めるのが大切だと思ようになりました。

受験者の方へメッセージ

「福井県の魅力を全国に発信したい」という思いをもって入庁したので、今はまさに自分がやりたかった仕事できており、毎日が充実しています。これから県職員を目指す皆さんも、自分が県庁で何をしたいのかをぜひイメージしてみてください。入庁したら、願いは必ず何かの形で叶うと思います。



幹部職員

田中 智美

女性活躍課 課長
[平成6年度採用]

入庁から今までの仕事は？

初めて配属された児童家庭課では、児童手当や児童入所施設等の担当をしました。大学の専攻やボランティアの経験から福祉行政を希望しており、身の引き締まる思いで業務に当たりました。当時、エンゼルランドの建設構想があり、夢のある仕事の一部を経験できました。

観光振興課・国際経済課では、各国大使や総領事の来県調整を行うとともに、ブラジルの福井県人会創立50周年に際しては、現地で開催される記念式典に参加し業務を行いました。また、在住外国人と連携して福井をSNSで発信する事業や留学生の県内就職を促す事業など、多くの新規事業を企画し実行しました。

現在の女性活躍課は、令和5年5月に新設され、女性リーダーの育成、家族みんなで家事を楽しむ「共家事(トモカジ)」の推進、「ふくい女性活躍推進チーム」の運営など、福井の女性が働きやすく、暮らしやすい

[女性活躍の推進]

女性職員のキャリア形成を応援し、能力に応じて積極的に管理職に登用しています。
[令和5年度の女性管理職割合 21.0%(過去最高)]
育児休業から復帰する女性職員には、復帰支援セミナーや柔軟な勤務制度を紹介し、円滑な職場復帰を後押ししています。

環境づくりを支援しています。ずっと携わりたかった業務であり、直接企業を訪問し、経営者の方々と意見交換をしながら、業務を進めています。

受験者の方へメッセージ

福井県では、幅広い分野で様々な職種・年齢層の職員が活躍しています。出産・育児や介護など家庭の制約があっても柔軟な働き方を選択でき、年齢を問わずチャレンジできる制度があるなど、「働きやすさ」と「働きがい」の両方があります。自分が担当したことが、県民や地域の役に立っていると実感できるのも県職員ならではの、あなたの力で福井県をさらに幸せな県にしていきたいか?一緒に働くのを楽しみにしています。



※一般的な職制です。昇任は勤務成績や経験等により決定します。

勤務条件・福利厚生

給与

初任給は、経歴、採用職種によりこの金額を超える場合があります。このほか、職員の家族状況、勤務状況等により次の各種手当が支給されます。(扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当等)

試験区分 初任給(月額) ※地域手当を含む

I 種	205,200円(大学卒の場合)
II 種	184,300円(短大卒の場合) 173,300円(高校卒の場合)

[令和6年4月に採用される人の初任給の標準例](予定)
 ※ 職歴のある方については、上記初任給の額に一定の基準で算出された額が加算される場合があります。
 [例] 35歳で、大学を22歳で卒業後、民間企業等で正社員として継続勤務している場合の初任給: 24 ~ 28万円程度

勤務時間等

月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

1週間当たり38時間45分、所属によっては変則勤務もあります。
 子の送り迎えなど家庭事情に合わせて早出遅出勤務が可能です。

完全週休2日制

土・日曜日、祝日および年末年始は原則として休みです。

休暇等

年次有給休暇をはじめ、様々なシーンに応じた休暇制度があります。(子育て支援制度も参照)
 [例] 年次有給休暇(20日)、夏季休暇(5日以内)、結婚休暇(7日以内)...等々

ライフスタイルに合わせた多様で柔軟な働き方

コミュニケーションが取りやすい執務環境やオンライン環境の整備など、職員にとって働きやすい職場づくりを進めています。

テレワーク

状況に応じて自宅やサテライトオフィス等で勤務可能な「テレワーク」環境を整備し、自宅等のパソコンから県庁のネットワークに接続することで、家庭事情や業務スケジュールに合わせた柔軟な働き方を推進しています。

ペーパーレス

決裁文書の電子化を進め、紙資料を大幅に削減することで、オフィス環境や業務効率の改善、コストの削減を図っています。

フリーアドレス

机や椅子を一新し、職員同士のコミュニケーションが取りやすくなるよう、席を固定しない「フリーアドレス制」の導入を進めています。



財政課オフィス

働き方改革や子育て支援を推進し、ライフスタイルに合わせた働き方をサポートします。

フレックスタイム制度

1週間あたりの勤務時間である38時間45分の範囲内で、各勤務日の就業時間の割り振りを調整して勤務することができます。

[例] 1日あたり7時間45分勤務で、月曜は5時間45分、火曜日は9時間45分勤務とする...等

早出遅出勤務

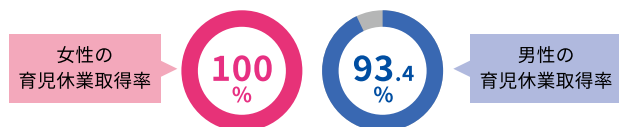
勤務開始を早めてその分早く退庁したり、時間外に仕事の予定がある場合に予め出勤時間を遅らせて、その分退庁時間を遅くしたりする等、柔軟な働き方が可能です。

子育て支援制度(主なもの)

産前産後休暇	出産予定日前8週間(多胎妊娠の場合14週間)から出産後8週間まで
育児休業	子が3歳に達する日までの期間において取得可能(2回まで分割取得可能)
育児短時間勤務	子が小学校就学前までの期間において、短い勤務時間での勤務が可能
育児部分休業	子が小学校就学前までの期間において、1日2時間以内まで休業が可能
男性の配偶者出産休暇	配偶者の出産に伴い入院の付き添い等を行うための休暇 2日以内
男性の育児参加休暇	配偶者の産前休暇期間および産後1年以内に、出産に係る子等の養育のための休暇 5日以内
出生時育児休業(産後パパ育児)	子の出生後8週間までの期間において取得可能(2回まで分割取得可能)
家族看護休暇	子を含む一定範囲の親族が病気になった時に看護をするための休暇 年5日以内(対象となる親族が2人以上の場合は年10日以内)
出生サポート休暇(不妊治療休暇)	不妊治療に係る通院等のための休暇 年6日以内(体外受精等を行う場合は年10日以内)

[男性育休の取得促進]

福井県では、男性の育児休業取得率100%を目標に掲げ、男性、女性関係なく皆で家事・育児を楽しむライフスタイルを推進しています。



※令和4年度に1か月以上休暇または休業を取得した職員の割合

現在の仕事内容は?

中小企業の創業や新分野開拓の支援、ベンチャー企業の創出支援などを担当しています。

子育て支援制度を利用してどうでしたか?

第4子が生まれた2か月後から、約3か月間の育児休業を取得しました。第3子が2歳とまだ手のかかる年齢であったことから、妻と相談し、私は第3子の育児と家事全般を担当することになりました。育児の大変さを身に染みて感じるとともに、日々成長していく子どもの姿を間近で見守ることができた貴重な時間となりました。私はグリープリーダーという立場でしたが、課全体で私の仕事をサポートしていただき、十分な休暇を取得できました。



石塚 星斗

経営改革課 [平成16年度採用]

UIターン職員からのメッセージ / U TURN I TURN

現在の仕事内容は？

公立学校で働く教職員の働き方改革、業務改善に携わっています。教職員の負担軽減を図るため、外部人材の活用に関する補助金の交付や、より良い働き方、業務改善のため、学校現場を直接取材し、好事例を県内公立学校に広める業務を担当しています。

福井県にイターン就職した理由は？



大学卒業後は、県外の民間企業で教育関係の営業業務や子どもに関わる仕事に就いていました。仕事柄、中学校や高校の教員とお会いすることが多く、学校教育の役割、教職員

の働き方には強い興味関心がありました。

そのような中で今後のライフプランを考えた時に、結婚後も長く働きながら子育てができ、子供がのびのび健康に育つ環境で生活がしたいと思うようになりました。

また、福井県の充実した子育て環境や教育については、仕事で度々目にしていたので、前職の経験も活かしながら幅広く社会の役に立ちたいと考え、県職員を志望しました。

県外在住の方へのメッセージ

福井県は研修制度が充実しており、また新しいことにもチャレンジしやすい風土があるため、民間企業での経験を活かしながら活躍できると感じます。身構え過ぎずに、これまでの経験に自信を持って県職員にチャレンジしてみてください。



増山 温子

教職員課

[移住・定住促進枠 (行政) 令和4年度採用]

福井県庁ナビゲーター制度

福井県の仕事に興味がある学生や社会人の方が、県の職員(ナビゲーター)から「県庁の仕事」や「県職員の魅力」等について個別面談(1対1)で話を聞くことができる制度です。

※採用試験・選考試験の可否には一切影響しません。

対象

就職先として県庁の仕事に興味のある方
(申込日時点で高校1年生以上の方)

職種

行政、福祉・心理、電気、土木(総合)、建築、化学、農学、林学、水産、栄養士、機械・金属、獣医師、薬剤師、保健師、原子力

ご利用の流れ

1. 申込み



HP「福井県職員募集案内」から申込

2. 決定



申込内容を確認し、担当ナビゲーターを決定
(申込から2週間以内に申込者に連絡)

3. 面談



日程調整の上、面談実施
(時間は1時間程度、1対1面談)

面談場所

ナビゲーターの職場等
(来庁が困難な方等はオンラインでの実施も可)



＼お申込みはこちらから！

お申し込み方法など、詳しくはホームページをご確認ください。

<http://info.pref.fukui.jp/jinji-i/navigator.html>



選考採用試験について

一般の競争試験とは別に、看護師や保健師等、特殊な専門的知識や技能、資格免許を必要とする職種については、選考という試験制度により採用を行っています。

選考試験の日程等については、職種により異なりますので、福井県人事委員会事務局のホームページでご確認ください。

令和5年度に実施した選考採用職種

- 獣医師
- 助産師
- 理学療法士
- 原子力
- 薬剤師
- 臨床検査技師
- 臨床工学技士
- 文化財調査員
- 看護師
- 診療放射線技師
- 保育士
- 保健師
- 医学物理
- 船員

※これらの職種は毎年度採用があるとは限りませんので、ご注意ください。

さらに詳しい情報はこちら！

福井県職員募集案内ホームページ

募集情報や過去の試験問題例、試験案内などを公表しています。

<http://info.pref.fukui.jp/jinji-i/>



職員ブログで県庁の仕事内容、
県職員の日常を発信中！

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/jinji-i/blogmatome.html>



YouTubeチャンネル
で動画配信中！



採用PR動画



X (Twitter)



Facebook

